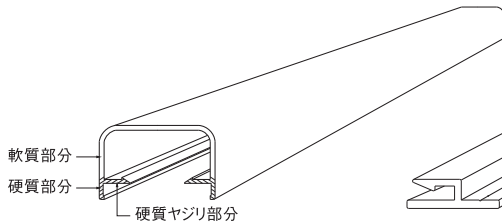


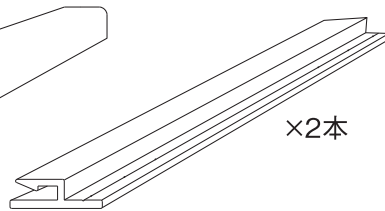
KTパッキング取付説明書

商品の名称

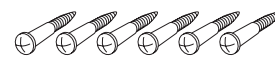
●KTパッキング



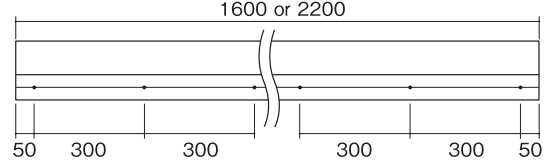
●KT用アルミレール



●付属ビス



(3.1mm×20/木ネジ)
ℓ/1600=6本×2セット
ℓ/2200=8本×2セット



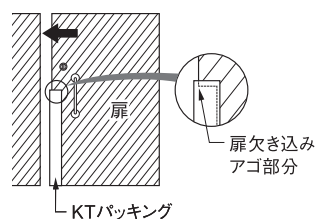
※扉の厚み33mm～40mmまで対応可能です。

扉の欠き込み部分への取付け

カマ錠を上部に設置して扉を欠き込み、欠き込み部分にKTパッキングを取付ける場合、欠き込みの角(アゴ)部分をKTパッキング軟質部で覆う事ができます。

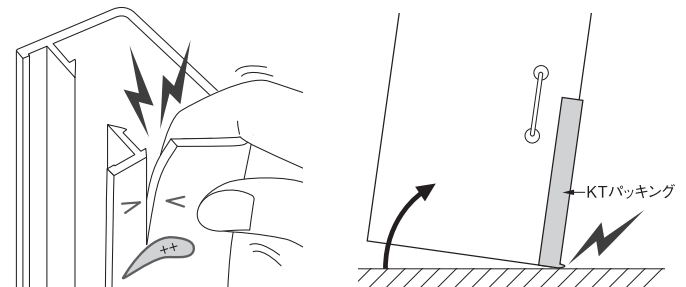
※施錠した時にアソビが3mm以上あるタイプを基本とします。それ未満の場合、KTパッキングはアゴ部分の下より取付けしてください。施錠出来なくなります。

納まりイメージ図



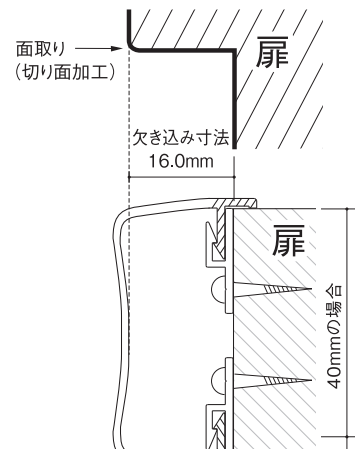
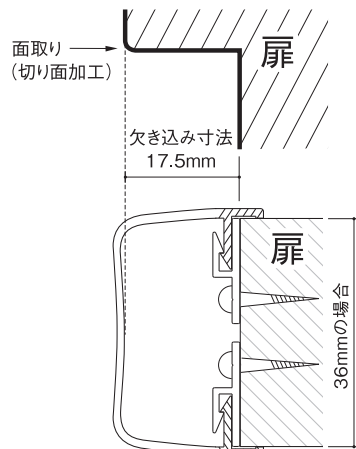
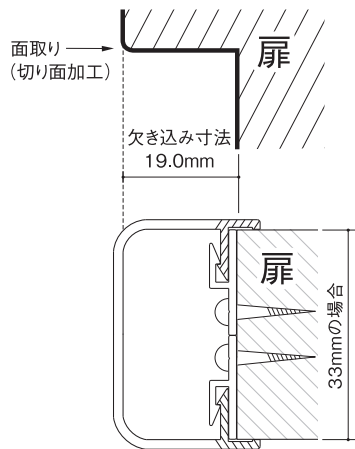
ご注意

硬質と軟質の接合部に強い圧がかかると亀裂のおそれがあります。搬出入及び設置時の取扱いには充分ご注意ください。



扉の厚みと欠き込み寸法

アゴ部分3方は必ず面取り(または3mm切り面加工)してください。



※欠き込み寸法は目安です。

KTパッキング取付け手順

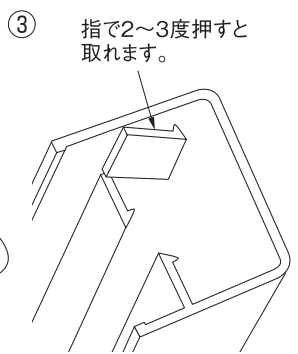
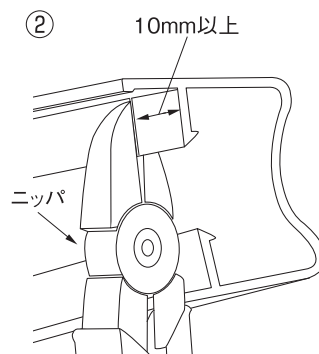
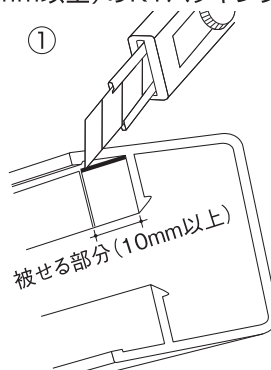
1 アゴに被せる場合、硬質ヤジリ部分のみ切り取ってください。

欠き込みのアゴをかぶせる部分(10mm以上)のKTパッキングの硬質ヤジリ部分を切り取ります。

① 切り取る硬質部分の根本にカッターで切れ目を入れておきます(数回切り込んでください)。

② 切れ目を入れた根本まで、硬質ヤジリ部分に対して垂直にニッパで切断します(万能ハサミは不可。他の部分が割れることがあります)。

③ 不要のヤジリ部分側を指で数度押せば取れます。



② 扉の高さに合わせてKTパッキングとKT用アルミレールを切断する

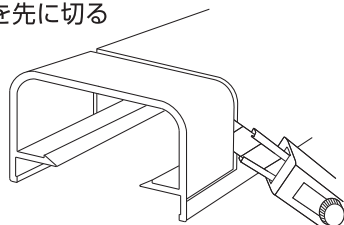
KTパッキングは硬質と軟質の2重構造です。軟質部分はカッターで切り落とせますが、硬質部分は破損しないよう金ノコ等で切断してください。

①最初に軟質部分をカッターで切り、②次に硬質部分を金ノコで裁断してください。

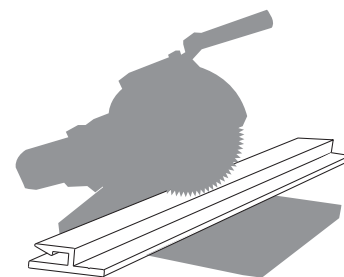
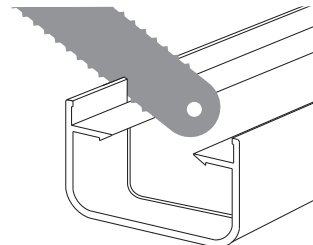
※KTパッキングは①のアゴをかぶせる部分を計算して長さを決めてください。

※アルミレールと硬質ヤジリ部分のバリは、切断後に取り除いてください。

①軟質部分を先に切る



②次に硬質部分を切る

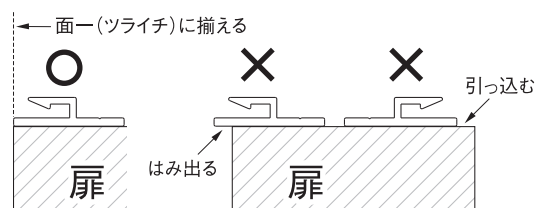


③ 扉へKT用アルミレールを取付ける

アゴの下からKT用アルミレールの嵌合部分が外向きになるように付属ビスで取付けます。

※扉の仕上げ面とKT用アルミレール端部が面一(ツライチ)になるように取付けてください。

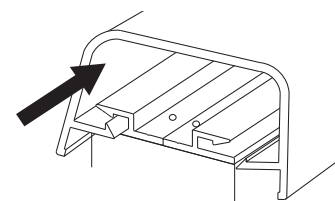
両面テープ等で仮留めすると、ずれにくくなります。



④ KT用アルミレールにKTパッキングの片側を^は嵌め込む

KTパッキングの片側の硬質ヤジリ部分をKT用アルミレールの嵌合部分に挿入させます。

扉下からスライドさせてください。



⑤ KTパッキングの位置を確定したうえで固定する

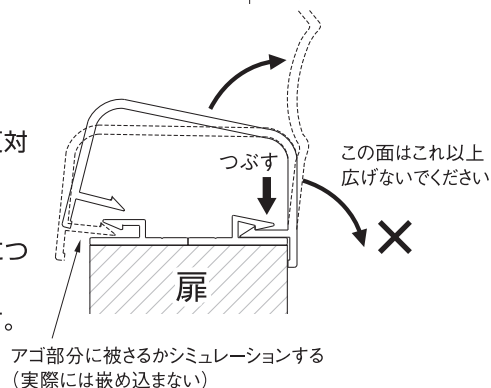
①片方だけ^は嵌め込んだ状態でKTパッキング端部がアゴ部分に10mm被り反対側が嵌合できるかシミュレーションする。(まだ嵌め込まないでください)

※嵌合がキツイ場合…アゴ部分を削り調整してください。

②確認できましたら必ずKTパッキングの上下の端部各1ヶ所を右図のようにつぶして固定してください。

※上下の両端部各1ヶ所を固定しないと被せた部分が露出する場合があります。

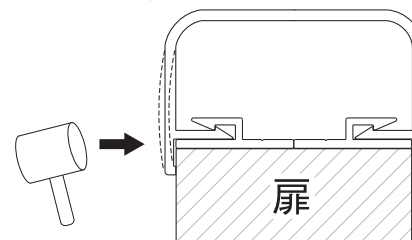
※KTパッキングを90°以上広げないようにしてつぶしてください。



⑥ 反対側をKT用アルミレールに^は嵌め込む

ゴムハンマー、木槌等でたたき嵌合させてください。

(※扉本体に傷がつかないように養生等を十分におこなってください)



⑦ 硬質ヤジリ部分全体がきちんと^{かんこう}嵌合されているか扉面を確認してください。

ヤジリ部分がKTパッキングに嵌合されていない部分があると、扉仕上げ面から硬質部が膨らんでいます。膨らみ(スキマ)がないか確認してください。膨らみがある時は、ゴムハンマー、木槌等でたたき、完全に嵌合させてください。

